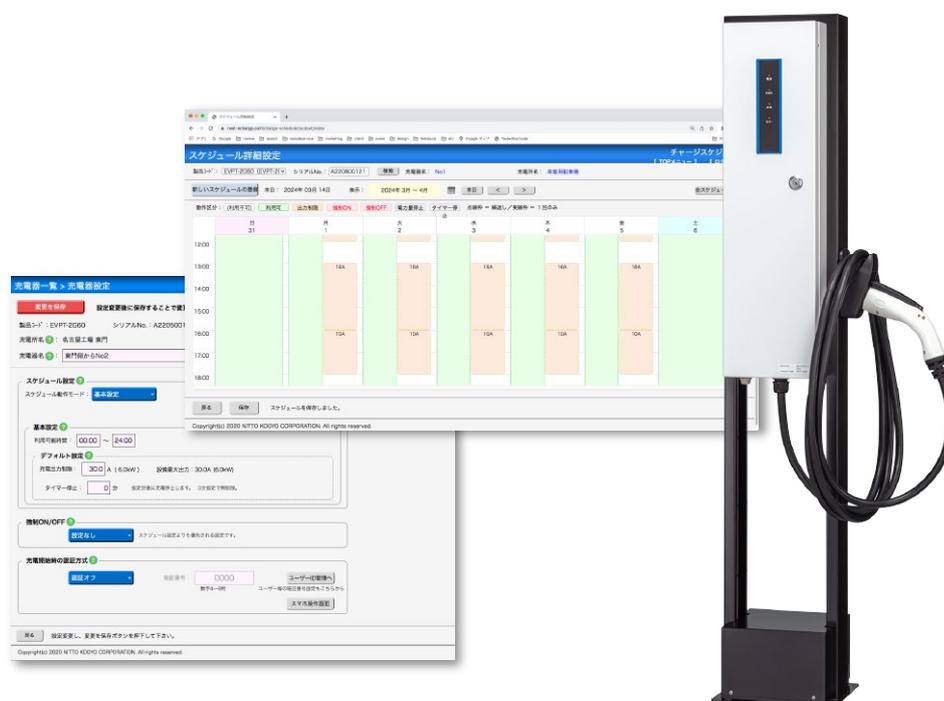


# EV充電器 Pit-2G オリジナル充電管理アプリ チャージスケジューラー 操作説明

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用の前に必ずこの操作説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
※この説明書は、必ず保管していただくようお願いいたします。



## もくじ

権限の種類、ログイン	3	スケジュール設定 詳細設定	8
充電器一覧画面	4	強制ON/OFF	15
充電器設定	5	認証方式 (ID/暗証番号の設定)	16
スケジュール設定 基本設定	6	ユーザーID管理	20
充電出力制限	7	利用履歴	21
タイマー停止	7	パワーシェアリング	23

## はじめに

EV充電器 Pit-2G通信モデルは、4G通信を使って遠隔制御・監視ができます。

日東工業オリジナル有償サービス「**リモート通信パック**」には、充電管理や初歩的なエネルギーマネージメントができるWebアプリ「**チャージスケジューラー**」が付属しています。

- Webブラウザで動作するため、新たなアプリのインストールは不要です。

※リモート通信パックの内容、お申し込みについては下記をご覧ください

[https://www.nito.co.jp/quick/evstand/pit-2g/remote\\_communication/](https://www.nito.co.jp/quick/evstand/pit-2g/remote_communication/)

チャージスケジューラーでできることは以下の通りです。

スケジュール充電	利用できる時間帯の設定ができます。
充電出力の調整	充電器ごとに、計画的に出力を抑えることができます。 1回の充電時間を指定する「タイマー停止」、指定した電力量になったら停止できる「充電量停止」なども設定できます。
利用制限・ID運用	暗証番号を設定することで、利用者を限定できます。 利用者毎にIDを設定して、暗証番号を設定したり、利用履歴を取得できます。
状態監視	現在の稼働状況や、履歴の確認ができます。

業務で使う車両は、特定の時間帯に充電時間が集中しやすいという課題があります。

充電開始時間を夜間に指定する、昼間は出力を抑えるなどの充電制御設定を行うことで、電気料金の上昇幅を抑えたり、電気設備増強を最適化する、といったコスト抑制ができます。

### チャージスケジューラーの機能について

- 複数の充電器をお使いの場合は、1台ごとに設定してください。
- 「**パワーシェアリング**」を使うことで、複数の充電器をグルーピングして、グループ単位でスケジュール充電や充電出力の調整の設定を行うことができます。（→P23）
- 課金や高度なエネマネが必要な場合は、EV充電サービス事業者が提供するサービスをお選びください。  
Pit-2Gは、連携可能なサービスが選べます。

## 権限の種類、ログイン

チャージスケジューラーは、Webブラウザで操作します。新たなアプリのインストールなどは不要です。

IDは、設備管理者用と、一般ユーザー用の2種類があり、権限によりメニューが分かれています。いずれも、有償サービスの**リモート通信パック**をご契約後に発行されます。

管理者IDでログインすると、登録や設定変更ができます。

ログインできないなどのトラブル時には、右上のお問合せボタンから、パスワードの再発行ができます。



※このマニュアルでは、管理者IDでログインした場合の説明をしています。

IDとパスワードを入力してログインすると、トップメニュー画面が開きます。

〈管理者用のメニュー〉



一般ユーザーのIDでログインしたときのメニュー画面は、登録や設定などの機能が制限されています。

〈一般ユーザー用のメニュー〉

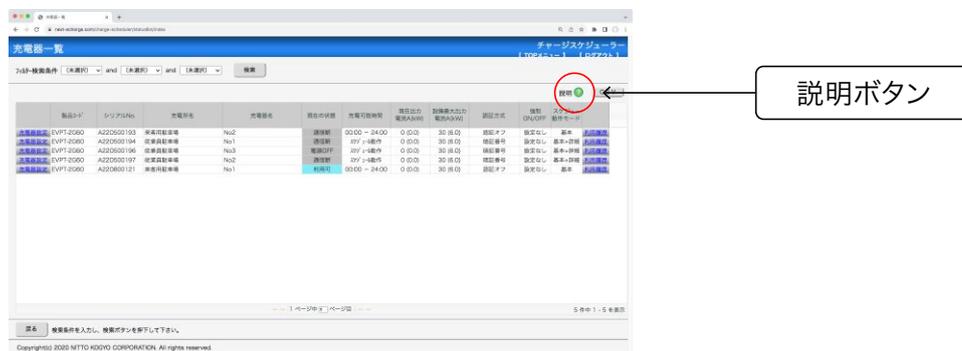


# 充電器一覧画面

トップメニュー画面で、「充電器一覧」をクリックすると、メインの管理画面が表示されます。  
管理している充電器が、全て表示され、各充電器の現在の状態や設定をリストで見ることができます。



各項目の説明は、右上の説明ボタンをクリックすると、確認することができます。



充電器が多い場合は、「フィルター検索条件」で条件を指定することで、条件に合った充電器のみを表示させることができます。

例えば、コードを選んで「EVPT-2G60」と入力して検索ボタンを押すと、製品コード「EVPT-2G60」の充電器のみがリストされます。

条件は3つまで指定できます。

フィルター検索条件  =  and  and

	製品コード*	シリアルNo.	充電所名	充電器名	現在の状態	充電可能時間	現在出力電流A(kW)	設備最大出力電流A(kW)
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500193	来客用駐車場	No2	通信断	00:00 - 24:00	0 (0.0)	30 (6.0)
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500194	従業員駐車場	No1	通信断	スケジュール動作	0 (0.0)	30 (6.0)
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500196	従業員駐車場	No3	電源OFF	スケジュール動作	0 (0.0)	30 (6.0)
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500197	従業員駐車場	No2	通信断	スケジュール動作	0 (0.0)	30 (6.0)
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220800121	来客用駐車場	No1	利用可	00:00 - 24:00	0 (0.0)	30 (6.0)

## 充電器設定

充電器リストの左にある「充電器設定」をクリックすると、その充電器の動作設定の確認、変更ができる設定画面が開きます。

複数の充電器を一括して設定することはできませんので、1台ずつ設定してください。

設定を変更したときには、左上の赤いボタン「変更を保存」を押すまで、その変更は保存されません。

	製品コード	シリアルNo.	充電所名	充電器名
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500193	来客用駐車場	No2
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500194	従業員駐車場	No1
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500196	従業員駐車場	No3
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220500197	従業員駐車場	No2
<a href="#">充電器設定</a>	EVPT-2G60	A220800121	来客用駐車場	No1

↓

〈充電器設定画面〉

変更を保存

充電器一覧 > 充電器設定

変更を保存 設定変更後に保存することで変更が反映されます。

製品コード: EVPT-2G60 シリアルNo.: A220500197

充電所名: 名古屋工場 東門

充電器名: 東門側からNo2

スケジュール設定

スケジュール動作モード: 基本設定

基本設定

利用可能時間: 00:00 ~ 24:00

デフォルト設定

充電出力制限: 30.0 A (6.0kW) 設備最大出力: 30.0A (6.0kW)

タイマー停止: 0分 指定中後に充電停止します。0分指定で無制限。

強制ON/OFF

設定なし

充電開始時の認証方式

認証オフ

認証番号: 0000

ユーザーID管理へ

数字4-8桁 ユーザー毎の認証番号設定はこちらから

スマホ操作画面

戻る 設定変更し、変更を保存ボタンを押下して下さい。

Copyright© 2020 NITTO KOGYO CORPORATION. All rights reserved.

# 充電器設定 ◆スケジュール設定 基本設定

充電器の使える時間帯や出力を制限する方法は二つあります。  
一つは、「基本設定」、もう一つは「詳細設定」です。

基本設定	かんたんな設定で毎日同じように動作する指定 ●利用時間帯 ●充電の最大出力
詳細設定	基本設定よりも細かな設定が可能 ●曜日ごとに利用できる時間を変える ●時間帯によって出力を変える

「基本設定」は、一覧から「充電器設定」をクリックして、「スケジュール設定」の「基本設定」の枠の中で設定できます。

## 利用可能時間

利用可能時間は、初期状態では0時から24時で、24時間いつでも利用可能であることを示します。  
例えば、店舗に設置された充電器で、無人になる夜間は充電器を使えないようにするには、ここに9:00~19:00と入力すれば、その時間帯のみ充電ができます。



基本設定では、例えば定休日の月曜日は終日利用不可にしたい、というような複雑な設定はできません。複雑な設定が必要な場合は、「詳細設定」を使ってください。

利用可能時間に、数字を入力すると、変更した部分が緑に変わります。  
設定を確定する場合は、「変更を保存」ボタンをクリックします。  
更新の確認にOKを押すことで、設定が有効になり、19時以降の夜間は使えなくなります。



## 充電出力制限

電気設備やデマンドに余裕がない場合に、「**充電出力制限**」で充電器の最大出力を制限できます。

6kW出力のモデルの場合、充電出力は最大30Aですので、最小6Aから最大30Aの範囲で任意の値を設定できます。

充電出力制限



充電器の出力を超えた値を入力した場合には、エラーが出て設定できません。  
3.2kW出力のモデルなら、最小6Aから最大16Aまで設定可能です。



※充電器の出力範囲を超えた値は赤色で表示され変更ができません。

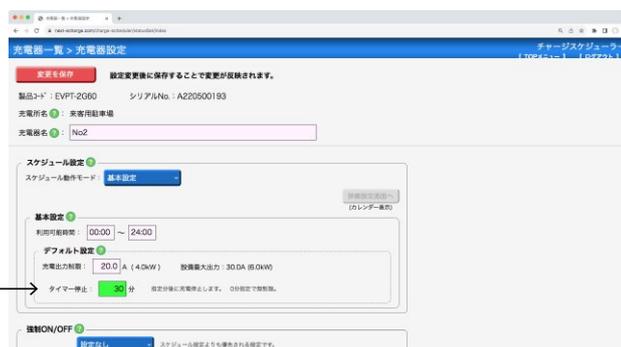
## タイマー停止

「**タイマー停止**」とは、充電開始から所定の時間が経過した際に自動で充電を終了させる機能です。

例えば、1台の充電器を複数のユーザーで使用し1人当たりの充電時間を制限したい場合、「タイマー停止」に30分と入力することで、1人1回30分で充電が切れる設定ができます。

使わない場合は、0のままにすることで、時間が無制限になります。

タイマー停止



## 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

「**詳細設定**」では、基本設定よりも細かい条件の設定ができます。

スケジュール動作モードから「**基本+詳細設定**」を選び、「**詳細設定画面へ**」をクリックすると、カレンダーが開きます。

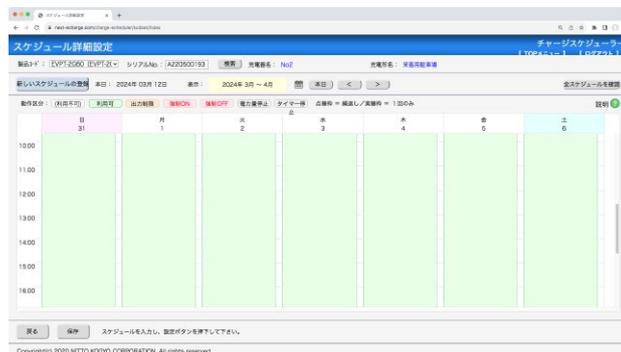


Googleカレンダーなどのカレンダーアプリと同じように、充電スケジュールを入れていくことができます。

初めての設定では、基本設定で設定した利用可能時間が「利用可」として設定されているため、カレンダー全体が「利用可」として表示されています。

この詳細設定画面で、一つでも利用可のスケジュールを設定した場合、基本設定での「利用可能時間」はキャンセルされ詳細設定が優先されます。基本設定の「デフォルト設定」で設定した「充電出力制限」と「タイマー停止」は詳細設定と混在して動作します。

### 〈詳細設定画面〉



### 詳細設定と基本設定の動作

利用可能時間

詳細設定で設定すると、基本設定がキャンセルされ、詳細設定のみで動作します。

充電出力制限  
タイマー停止

デフォルト設定を維持したまま、詳細設定で動作します。

# 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

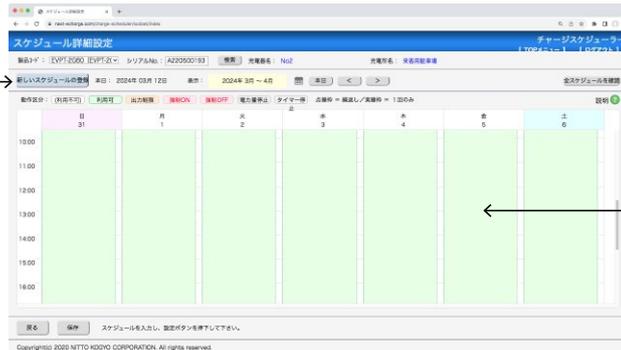
ここでは詳細設定の例題として、  
 平日の昼間は電流を16Aに制限し、夕方は一斉充電を避けるためにさらに10Aまで抑える、  
 ただし、平日の昼休みと夜間、土日は、制限なしで、充電器の最大電流、30Aで充電できるようにする、  
 という設定の手順を説明します。

まず、平日の午前中に、16Aの制限を設定します。

カレンダーの空白部分をクリックすると、スケジュール登録画面が開きます。

「新しいスケジュールの登録」ボタンをクリックしても同じ登録画面が開きます。

「新しいスケジュール  
 の登録」ボタン



※カレンダーの空白部分  
 (未登録部分)をクリックでも  
 登録画面が開きます

〈スケジュール登録画面〉



- 動作区分
- 時間帯
- 対象日(起点日)
- 繰り返し設定 1
  - 繰り返し する/しない
  - 繰り返し単位
  - 繰り返し頻度

- 繰り返し設定 2
  - 繰り返し期間
  - 週毎/月毎の  
各種設定が行えます

(次ページへ続く→)

## 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

(→前ページの続き)

スケジュール区分のプルダウンメニューで「出力制限」を選ぶと、電流の入力欄が現れるので、ここに16Aと入力します。

●プルダウンメニューで「出力制限」を選択

●電流の入力欄に16Aと入力

【時間帯】は、9:00～12:00とします。

【繰り返し】は「する」を選び、【繰り返し単位】は「週毎」を選びます。

【繰り返し頻度】は、今回は毎週ですので「1」を選びます。

●【時間帯】に 9:00 ~ 12:00 と入力

●【繰り返し】は「する」、【繰り返し単位】は「週毎」、  
【繰り返し頻度】は、「1」週毎を選択

【繰り返し期間】は、今回は、2025年までの1年間を選びます。カレンダーから日付をクリックすると、入力されます。週毎指定で、平日となる月曜日から金曜日までにチェックを入れます。

●【繰り返し期間】はカレンダーをクリックして入力できます

●「週毎指定」を選び、「月」から「金」までをチェック

これで設定が完了したので、右下の「登録」ボタンを押します。

登録ボタン

(次ページへ続く→)

# 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

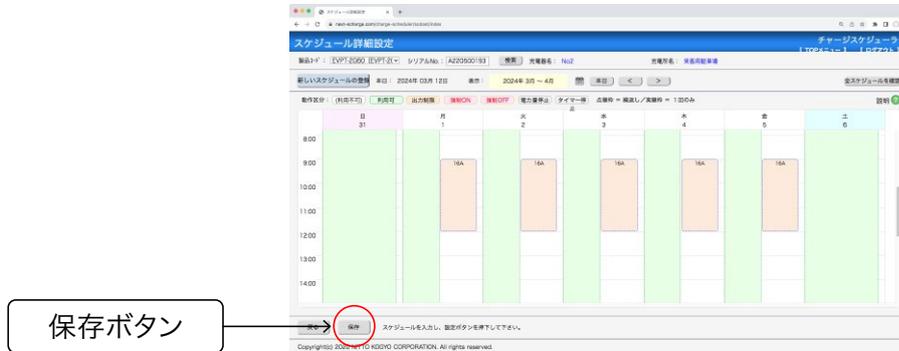
(→前ページの続き)

カレンダーに登録されました。

まだこの時点では確定していませんので、枠の色が青になっています。

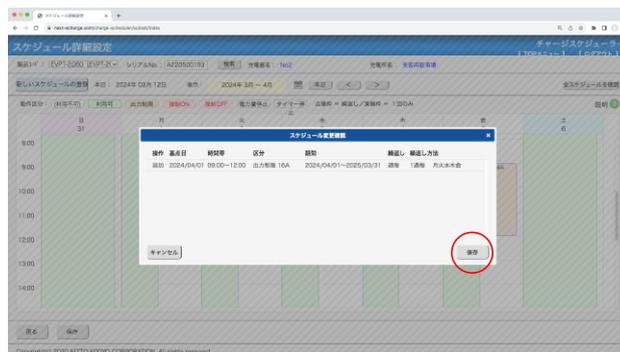
設定したスケジュールは、左下の「保存」ボタンを押すまで確定しません。

左下の「保存」ボタンを押します。

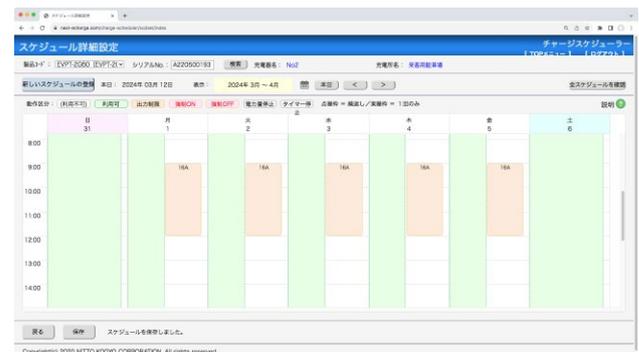


保存内容の確認が出ますので、「保存」ボタンを押します。

左下に「スケジュールを保存しました」と出て確定されました。



●スケジュール変更確認で「保存」ボタンを押す



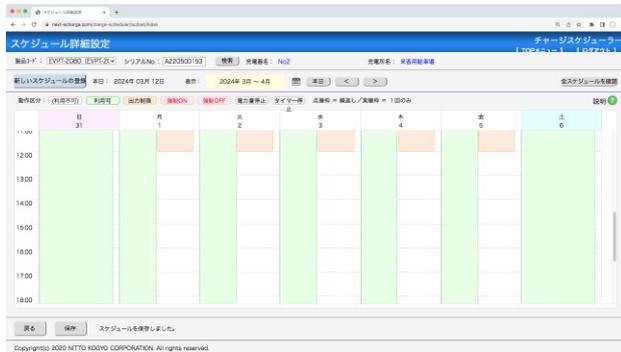
●確定されると設定したスケジュールがオレンジ色に変わります

(次ページへ続く→)

(→前ページの続き)

同じように、午後のスケジュールを設定していきます。

カレンダーの設定したい部分をクリックして、スケジュール登録画面を表示し、登録を行います。



●カレンダーの設定したい部分をクリック



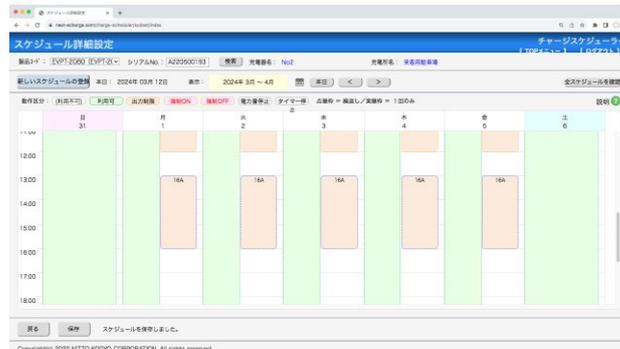
●午前と同じように登録を行います

午後のスケジュール設定内容

動作区分	出力制限	16A
時間帯	13:00 ~ 16:00	
繰り返し	する	
繰り返し単位	週毎	
繰り返し頻度	1	
繰り返し期間	カレンダーで1年間を選ぶ	
週毎指定	月曜日から金曜日にチェック	

※上記の「動作区分」で、出力制限を0Aに設定すると、充電不可の設定と同じとなります。

「登録」ボタンをクリックすると、カレンダーに青色の枠で入力されます。



(次ページへ続く→)

# 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

(→前ページの続き)

同じように、夕方に10Aで制限する設定をします。

夕方のスケジュール設定内容

動作区分	出力制限 10A
時間帯	16:00 ~ 18:00
繰り返し	する
繰り返し単位	週毎
繰り返し頻度	1
繰り返し期間	カレンダーで1年間を選ぶ
週毎指定	月曜日から金曜日にチェック

内容を全て入力したら登録ボタンを押す

「登録」ボタンを押すと画面がカレンダー表示画面に戻るので、左下の「保存」ボタンを押します。

保存ボタン

確認が出るので、「保存」ボタンを押すことで、スケジュールが保存されます。

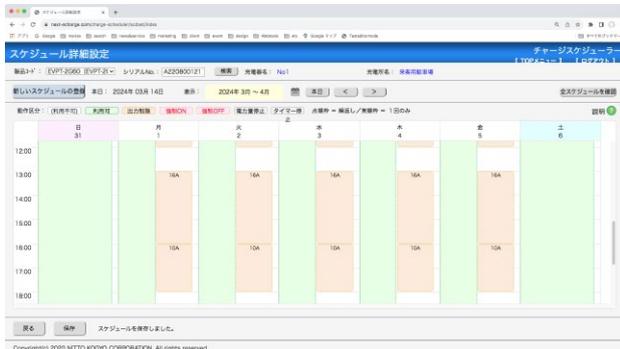
●スケジュール変更確認で「保存」ボタンを押す

●全ての時間帯の設定が終わりました

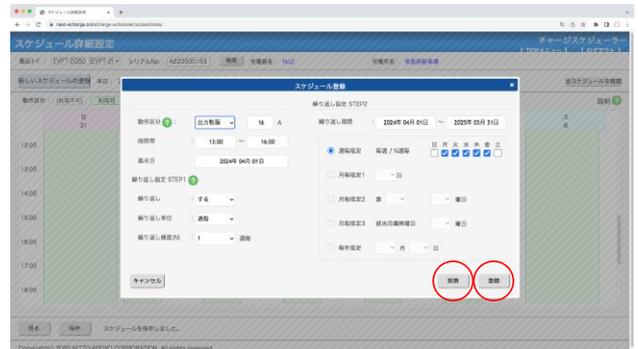
## 充電器設定 ◆スケジュール設定 詳細設定

設定したスケジュールを編集または削除するには、対象のスケジュールをクリックし、内容を編集して「登録」ボタンを押します。

削除する場合は、「削除」ボタンを押します。

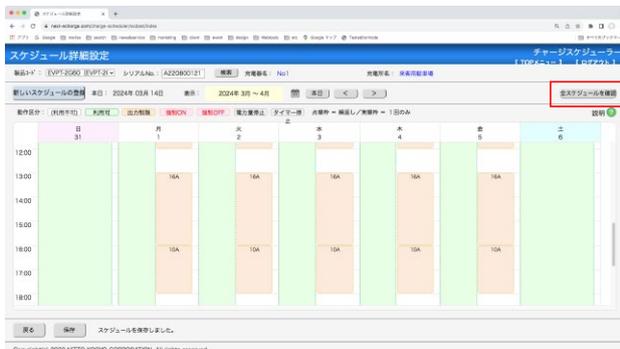


●対象のスケジュールをクリックで、編集または削除ができます

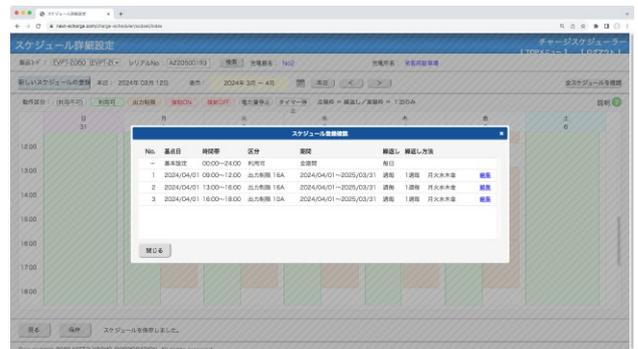


●スケジュール登録画面で「登録」または「削除」ボタン

右上の「全スケジュールを確認」ボタンを押すと、登録されているすべてのスケジュールが一覧できます。ここから個別のスケジュールの編集または削除ができます。



●「全スケジュールを確認」ボタン



●スケジュール登録確認(一覧)

スケジュールを登録あるいは編集した際には、左下の「保存」ボタンを押して初めて有効となります。

また、充電器設定画面でスケジュール動作モードを「基本設定」にすると、カレンダーに登録された詳細設定はいったん無効となります。

その後、再び「基本+詳細設定」にすると、以前に登録した詳細設定が有効となります。



# 強制ON/OFF

強制ON/OFF機能を使うと、スケジュール設定を変更することなく大事なお客様に一時的に充電を許可したり、使用電力量を一時的にセーブするために充電を止めたりすることができます。



強制ONにするには、プルダウンから「強制ON」を選び、「変更を保存」ボタンを押します。解除するには、「設定なし」を選択して保存してください。



- 「強制ON」を選び、  
上部の「変更を保存」ボタンを押す

下の欄にある「充電開始時の認証方式」が「認証オフ」以外になっている場合は、強制ONでも認証しないと充電できません。



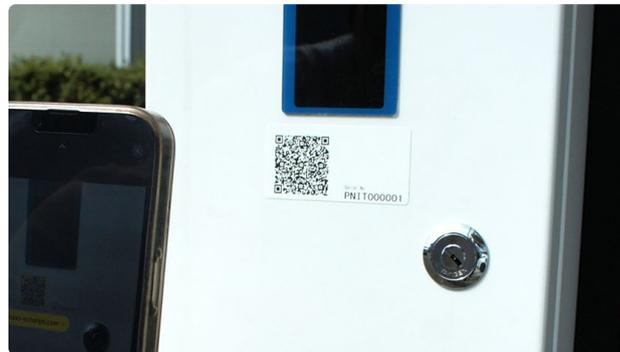
※出力制限やタイマー停止、電力量停止の設定は維持されます。

## 認証方式 (ID/暗証番号の設定)

充電器に認証機能を設定するには「充電開始時の認証方式」から設定します。

「認証オフ」の場合は、暗証番号無しで、誰でも自由に使えます。

認証をオンにすると、車両のコネクターを挿してもすぐには充電が始まらず、ユーザーがスマホで充電器のQRコードを読み込んで、ID選択や暗証番号の入力をする事で、はじめて充電がスタートします。



●スマートフォンで充電器のQRコードを読み込んで認証画面を開く

スマホ認証には、以下の3つがあります。

暗証番号

共通の暗証番号を知っている人だけが使えます。

ID選択

利用時にIDを選択することで使えます。  
ドライバーや車両ごとの充電記録をすることができます。

ID選択+暗証番号

IDを選択して、さらにそのIDに固有の暗証番号を入力することで充電できるモードです。

## 認証方式 (ID/暗証番号の設定)

暗証番号を設定して利用者を制限するには、認証方式のボタンを押してプルダウンメニューから「暗証番号」を選択します。

認証方式が「暗証番号」に  
変わり、緑で表示



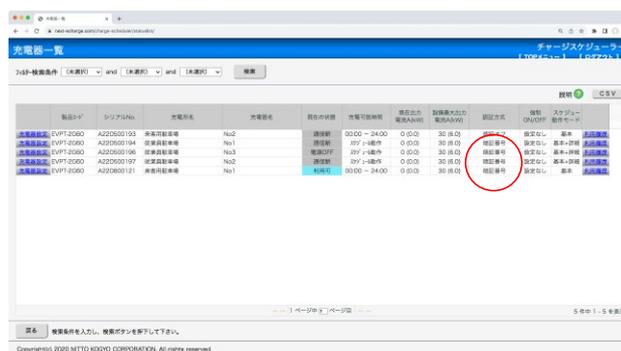
次に、暗証番号を設定します。

変更を確定して、充電器に反映させるには、左上の「変更を保存」ボタンを押し、確認ウィンドウで、「OK」を押すと設定されます。

数字4~8桁の  
暗証番号を入力



「戻る」ボタンを押して、充電器一覧に戻ると、認証方式が暗証番号になっていることが確認できます。



## 認証方式 (ID/暗証番号の設定)

暗証番号モードになっている時にスマホで充電器のQRコードを読み取ると、暗証番号入力画面が出てきます。  
コネクタを車両に挿した状態で暗証番号を入力すると、充電がスタートします。  
暗証番号を入力してから1分以内なら、入力後にコネクタを挿し込んでも充電がスタートします。

### 〈スマートフォン 充電器操作パネル〉



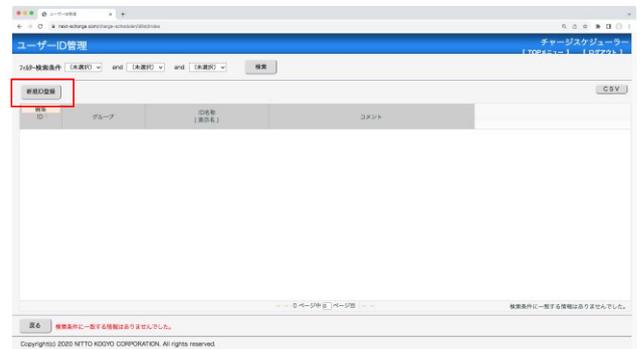
ID選択を初めて利用する時には、ユーザーIDの登録が必要です。

「ユーザーID管理へ」ボタンをクリックし、次の画面で「新規ID登録」ボタンをクリックして、ID登録・編集画面で必要事項を登録することでID選択モードが使えるようになります。



●右の「ユーザーID管理へ」ボタンをクリック

### 〈ユーザーID管理画面〉



●画面左上の「新規ID登録」ボタンをクリック

### 〈ID登録・編集画面〉



## 認証方式 (ID/暗証番号の設定)

「ID選択+暗証番号」を選択すると、ID選択とそのID固有の暗証番号が設定でき、利用者はスマホにID選択と暗証番号入力の両方が求められます。

利用制限をしながら、利用者を特定することができます。



パソコンのブラウザで、スマホ用の画面を確認するには、「スマホ操作画面」ボタンをクリックします。

管理用の「スマホ操作画面」からでも、ユーザーがQRコードを読み取った時と同じように操作ができます。



※スマホ画面を確認するためには、充電器が通信できている必要があります。

暗証番号を設定している場合は、操作画面に、暗証番号入力画面が出ます。

暗証番号を入力すると、操作が許可されます。

〈PC管理画面 スマートフォン充電器操作パネル〉

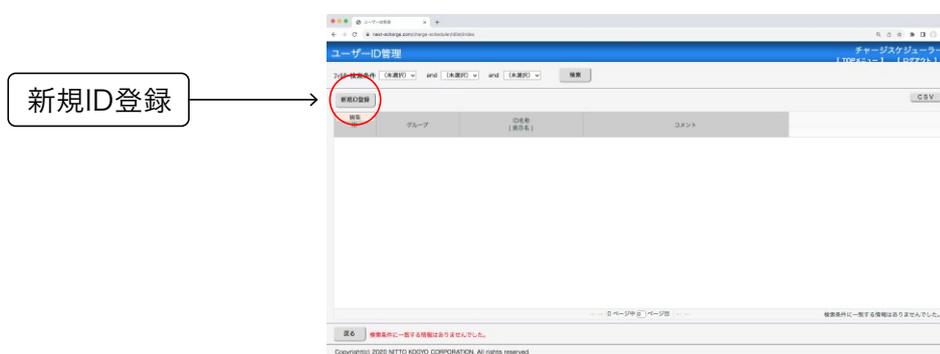


## ユーザーID管理

トップメニューの「ユーザーID管理」では、充電器設定画面の「ユーザーID管理へ」ボタンをクリックしたときと同じように、ユーザーの登録や編集が行えます。



### 〈ユーザーID管理画面〉



「新規ID登録」をクリックして、ユーザーの登録を行います。

### 〈ID登録・編集画面〉

ID	任意の英数字(半角 最大20文字まで)
グループ	ユーザーのグループを選んで設定 ●初めて使用する場合は、「新規登録」を選んで、「編集」ボタンを押すとグループの新規作成ができます。
ID名称	ドライバーや車番などの表示名
コメント	IDに関する説明等を入力
暗証番号	数字4～8桁

IDの登録数に制限はありません。

認証方式が「ID選択」、もしくは「ID選択+暗証番号」に設定されていれば、利用履歴にIDと一緒に記録されます。

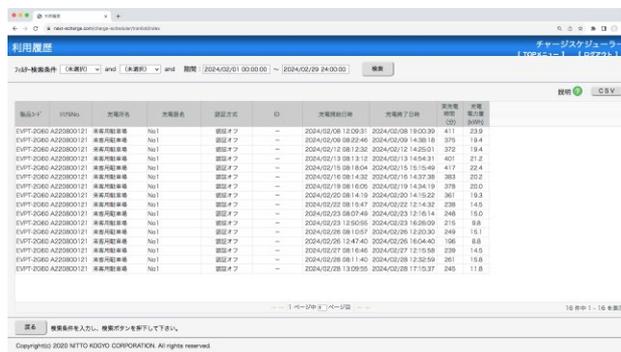
# 利用履歴

トップメニューの「全充電器の利用履歴」から、全ての充電器の利用履歴が一覧できます。  
全充電器の利用履歴を開くと、先月分の履歴が表示されています。

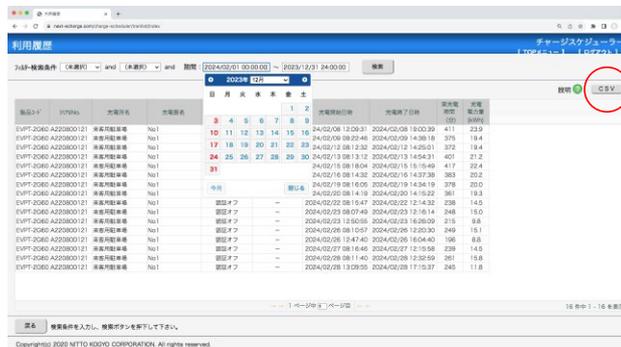
全充電器の利用履歴



〈利用履歴画面〉



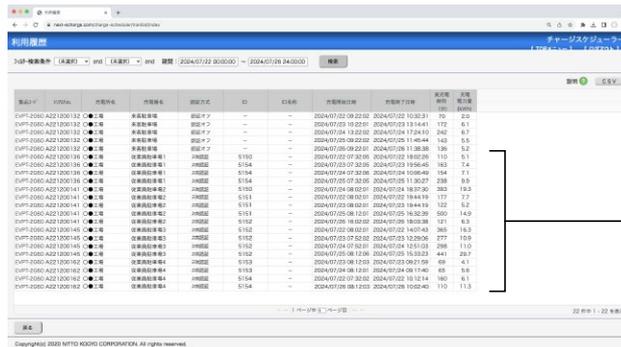
期間を変更する場合は、上の期間を変更して「検索」ボタンを押してください。右上の「CSV」ボタンをクリックすると、表示されているデータが、エクセル等で開くことができるCSV形式でダウンロードできます。



表示データをCSV形式でダウンロード

●上の「期間」をカレンダーから指定して検索できます

認証方式が「ID選択」、もしくは「ID選択プラス暗証番号」に設定されている場合には、利用履歴にIDと一緒に記録されます。

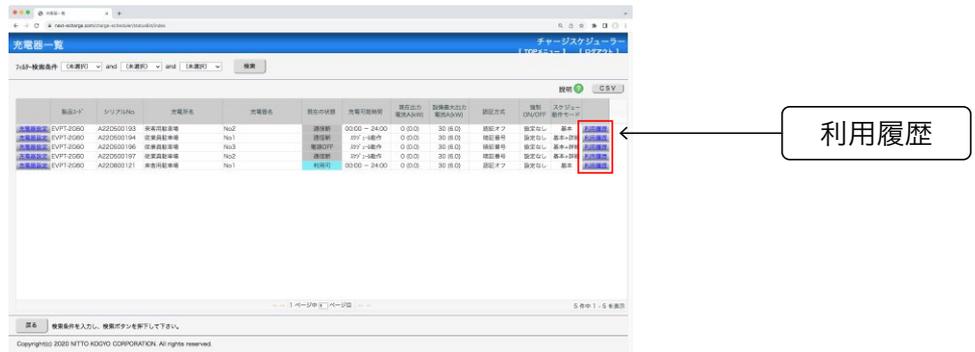


ID記載された利用履歴

■「全充電器の利用履歴」の利用履歴のデータ保存期間は3か月です。  
必要に応じてCSVデータをダウンロードして保存することをお勧めします。

## 利用履歴

特定の充電器1台分の利用履歴を見るには、充電器一覧画面の右端「利用履歴」をクリックすると、その充電器の履歴だけを見ることができます。



トップメニューの「全充電器の利用履歴CSV」では、1か月ごとの利用履歴のCSVファイルがまとめてダウンロードできます。



### 〈全充電器の利用履歴CSVダウンロード画面〉



※利用履歴のCSVファイルは、毎月ZIPファイルが自動で生成されます。  
定期的に利用履歴を分析するような場合に便利です。

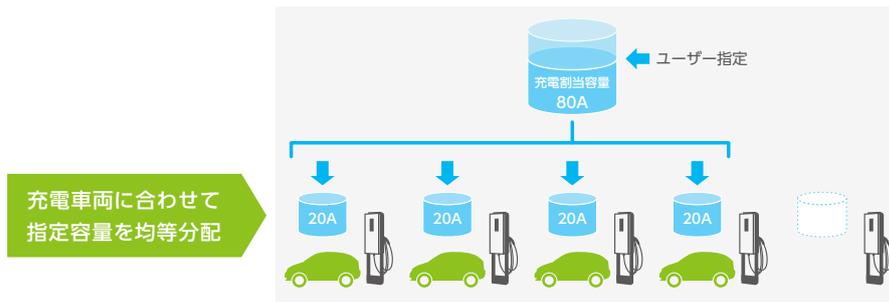
- 「全充電器の利用履歴CSV」のCSVデータ保存期間は1年です。  
必要に応じてCSVデータをダウンロードして保存することをお勧めします。

# パワーシェアリング

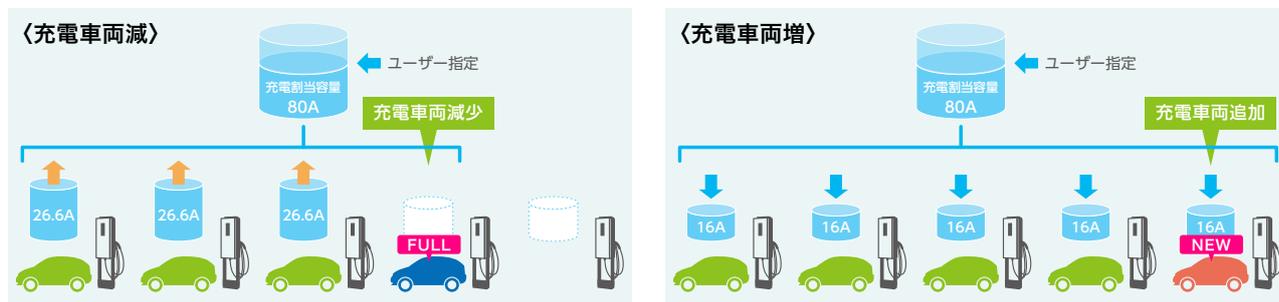
「パワーシェアリング」を使うことで、複数の充電器をグルーピングして、グループ単位でスケジュール充電や充電出力の調整の設定を行うことができます。

- 制御対象となる充電器の台数制限はありません。
- 「パワーシェアリング」を使うために、新たな配線などの現地調整作業や施工は不要です。
- グループ設定はクラウド側で自由に設定できるので、1つのエリアでグループ分けをしたり、遠隔地の充電器を同じグループで制御することもできます。

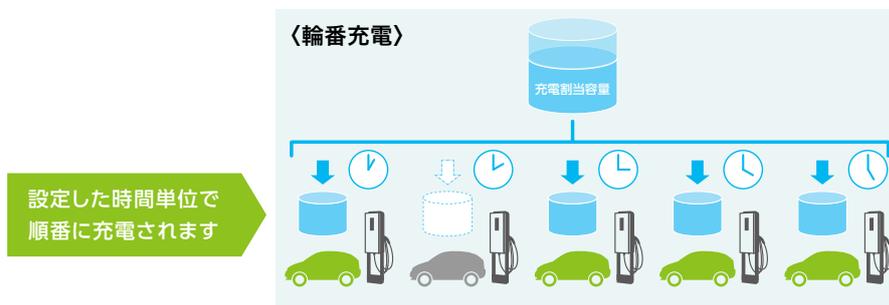
スマート充電は、充電割当容量を均等配分することを基本として、現在充電している車両の増減に合わせて容量を自動で分配します。



例えば、グループ全体の充電容量を80Aに設定した場合、4台の車両が使っている時は、各20Aが配分されます。充電が終わった車両があれば残りの充電器への割当が増加し、充電する車両が増えた場合はそれぞれの容量を抑えます。設定した割当容量を超えないようにピークコントロールを行うことで、デマンド抑制や他の設備の電力需要とのバランスを取ることが可能です。



EV充電で下限として設定されている、1台あたり6Aを下回りそうな場合は、自動で輪番充電が行われます。

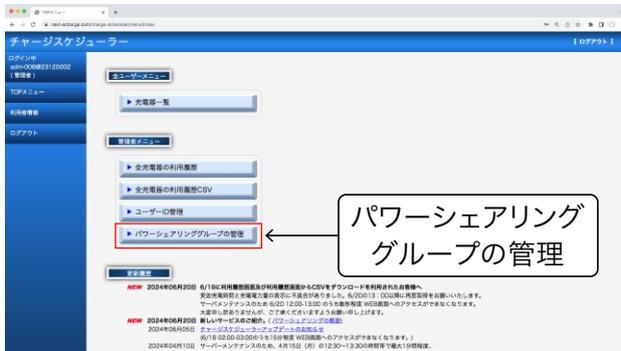


充電割当容量は、充電器のスケジュール設定と同じように、時間や曜日ごとの制限値を変えることが可能です。

# パワーシェアリング

トップメニュー画面の、「パワーシェアリンググループの管理」から設定が行えます。

初めて使う時は、まずグループ設定を行います。「パワーシェアリンググループの管理」画面から「新規グループ作成」をクリックし、グループ設定画面を開きます。

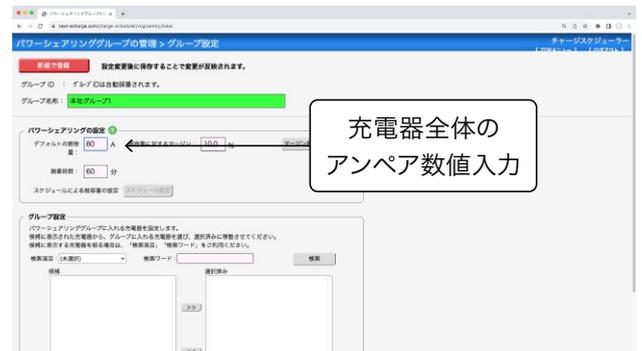


●「パワーシェアリンググループの管理」をクリック



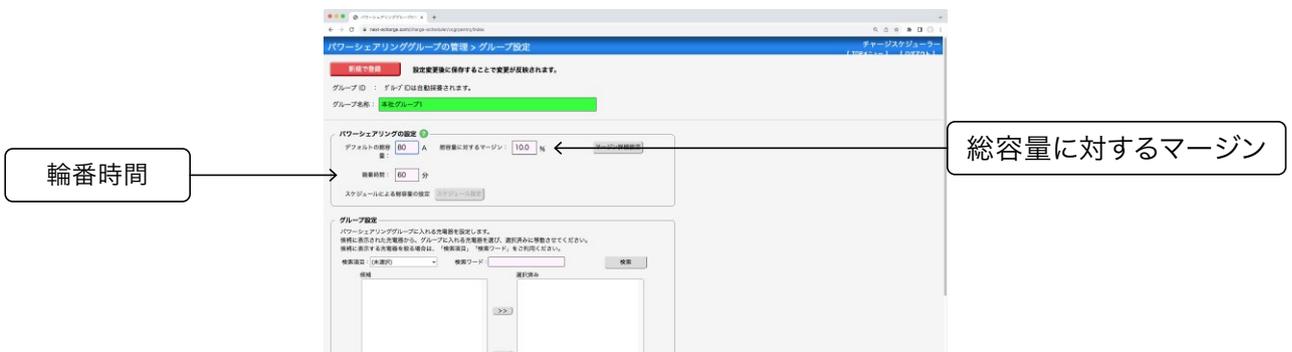
●「新規グループ作成」→グループ設定画面へ

充電器を管理するためのグループ名称を入力します。「パワーシェアリングの設定」では、「デフォルトの総容量」でグループ内の充電器全体で利用できるアンペア数を設定できます。



充電する車両や充電器の設定によっては、指定のアンペア数よりも多く充電が行われる可能性があります。こうした場合は「総容量に対するマージン」を設定することで、設定した値を総容量から差し引く制御を行い、設定した総容量を超えないようにできます。

例えば、マージンを10%にすると、総容量の90%になるようにアンペア数の制御を行います



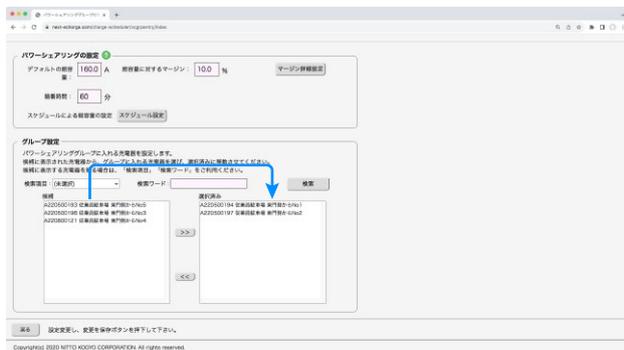
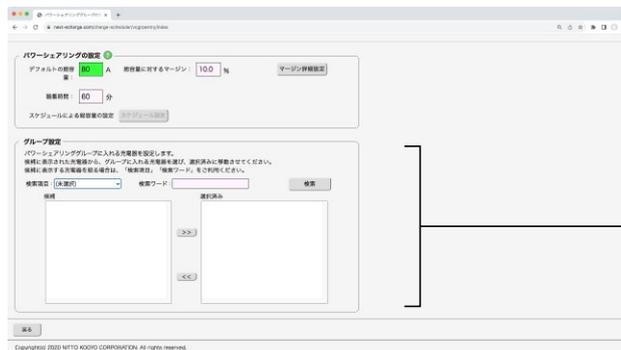
「輪番時間」は、輪番充電する際に待機している充電器が充電を開始するまでの時間を設定できます。

## グループ設定

「グループ設定」で、管理したい充電器のグループを作成できます。

左側の「候補」に表示された充電器の一覧から、グループに設定したい充電器を選び、右側の「選択済み」に移動することで、グループが設定できます。

充電器をグループから外したい場合は、「選択済み」から選んで左に移動することでグループから削除できます。



●右側の「選択済み」に移動することでグループを設定



●「選択済み」から左に移動することでグループから削除

候補に表示する充電器は、  
検索項目(シリアルNo./充電所名/充電器名)、  
検索ワードで絞り込むことができます。



設定を入力したら、左上の「変更を保存」ボタンをクリックすることでパワーシェアリングが反映されます。



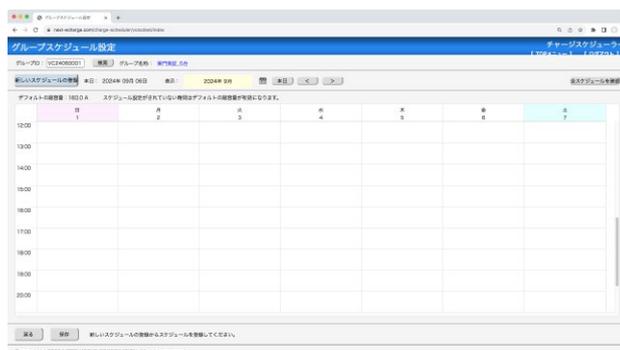
## スケジュール設定

時間や曜日によってグループの総容量を変更したい場合は、「パワーシェアリングの設定」にある「スケジュール設定」から設定できます。



「グループスケジュール設定」の画面で、充電器設定の、「スケジュール設定 詳細設定」と同じように、カレンダーアプリと同様の操作で、充電スケジュールを設定できます。

〈グループスケジュール設定 画面〉

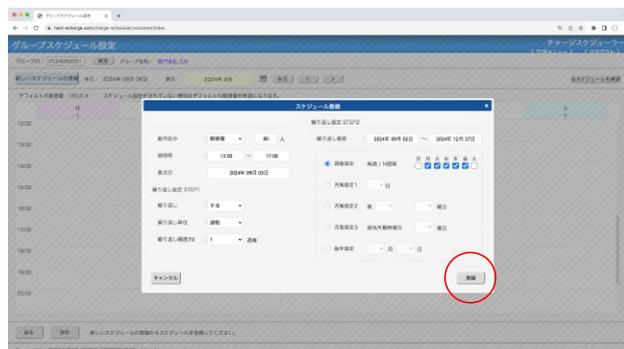


カレンダーの空白部分、もしくは左上の「新しいスケジュールの登録」ボタンをクリックすることで、スケジュール登録画面が開きます。この画面から時間帯ごとの総容量の設定や、週単位などでの繰り返しの設定が行えます。

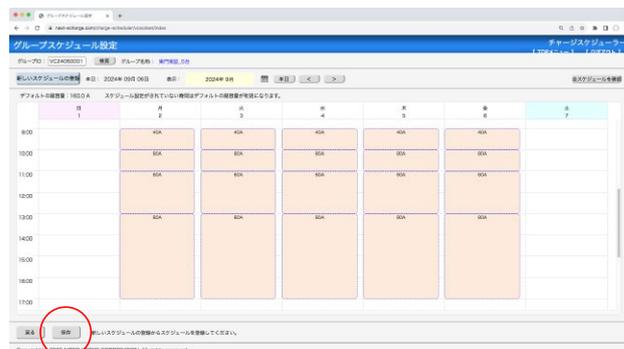
※スケジュール設定方法は「スケジュール設定 詳細設定」(P8)をご覧ください

入力したスケジュールは、右下の「登録」ボタンをクリックするとカレンダーに反映されます。

必要なスケジュールを登録したら、左下の「保存」ボタンをクリックすることで設定が確定されます。



●カレンダーへの反映は右下の「登録」ボタンをクリック



●左下の「保存」ボタンでスケジュール設定が確定

## 電流値推移・履歴

グループを設定すると、「パワーシェアリンググループの管理」画面で設定済みグループ一覧に表示されます。登録充電器台数、現在充電台数、現在総電流値、総容量、マージン値が、グループごとの一覧で見ることができます。

グループID	グループ名	登録充電器台数	現在充電台数	現在総電流値(A)	総容量(A)	マージン値(A)	操作
VCHN0001	電力実証 5台	5	4	0.5	100.0	10.0	電流値推移

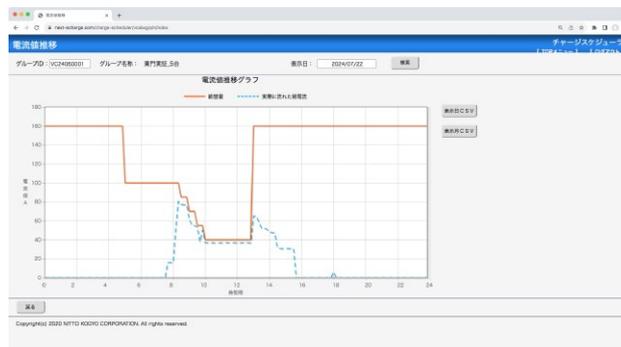
電流値推移

履歴にある「電流値推移」では、使用した電流値推移がグラフで表示されます。

表示日から日時を選び、「検索」ボタンをクリックすると、その日の24時間の電流値推移グラフを表示できます。

履歴のデータは、右側の「表示日CSV」「表示月CSV」から、24時間もしくは一か月単位のCSVファイルをダウンロードすることもできます。

### 〈電流値推移グラフ 画面〉



- 表示日のカレンダーから表示したい日時を選択  
表示日/表示月のCSVファイルがダウンロードできます

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
この説明書の内容は 2024年10月現在のものです。